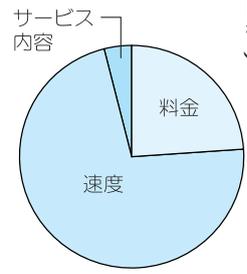
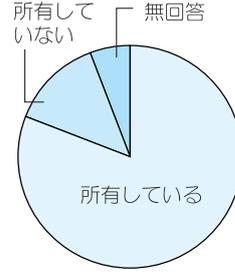


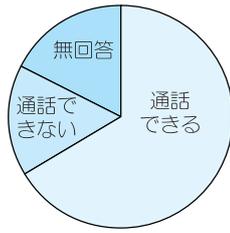
○不満の理由（限定設問・複数回答）



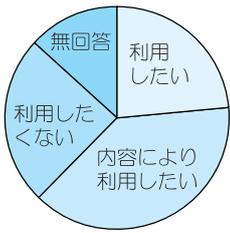
○家族を含めた携帯電話
〔携帯電話について〕
所有率



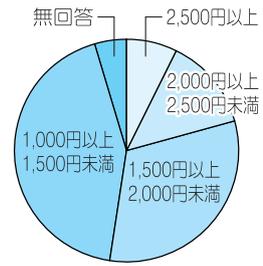
○自宅での携帯電話通話の可否



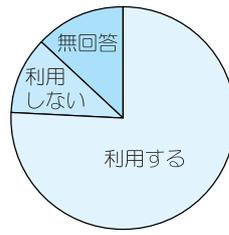
〔ケーブルテレビ高度化事業について〕
○ケーブルテレビでのインターネット利用希望



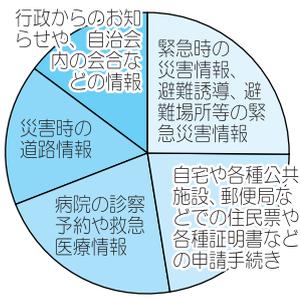
○ケーブルテレビでのインターネット利用料金の希望金額



○IP電話サービスの利用希望



〔必要な情報について〕
○町内の情報化を進めていく上での必要な情報（複数回答）



アンケートのご協力ありがとうございました。

②「ケーブルテレビ高度化事業」って何？なぜ必要なの？

旧馬頭町と旧小川町が合併し那珂川町となり、行政情報の発信、各種の申請手続きサービス（電子申請）、保健・福祉の各種相談、災害などの緊急連絡周知など、町民が生活する上で知り得たい情報が様々な分野で数多くあり、また、自宅に居ながら町の行政サービスを受けることができるよう、那珂川町すべての町民が、行政サービスをよりよい環境で受けられるようにその基盤整備が必要となります。

そこで町としては、その情報伝達手段として、幹線に光ケーブルを使った通信網（ネットワーク網）を新設し、旧馬頭町のケーブルテレビ網のようになネットワーク網を那珂川町全域に張り巡らせ、普及、発展させようと考えています。

また、平成二十三年七月以降も那珂川町全域でテレビ放送（地上デジタル放送）が見られるようになります。

そして、行政情報を送るだけでなく、町民も自宅から返信・発信したり（これを「双方向化」といいます）、インターネットをより快適に使えるようにしたり、CTBの加入者間で通話料が無料となる

さらに、平成二十三年七月のアナログ放送（現在のテレビ放送）の終了に備えて、那珂川町全域の難視聴対策にも努めていこうと考えています。

また、平成二十三年七月以降も那珂川町全域でテレビ放送（地上デジタル放送）が見られるようになります。

この事業が目指すものは、「ユビキタス社会への対応」です。「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」がITを使ったネットワークに参加し、より良い生活環境でより良い暮らしをおくれるよう実現化を目指しています。

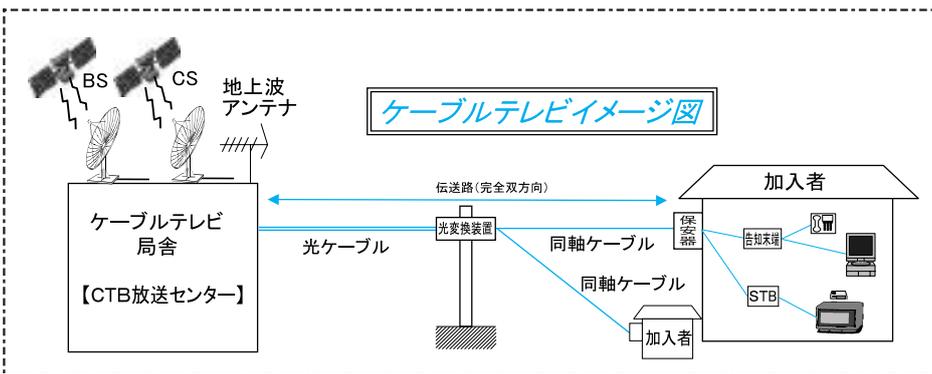
この「ケーブルテレビ高度化事業」で重要な役割を果たしていくのが、「伝送路」「CTB」「テレビ」です。

また、平成二十三年七月以降も那珂川町全域でテレビ放送（地上デジタル放送）が見られるようになります。

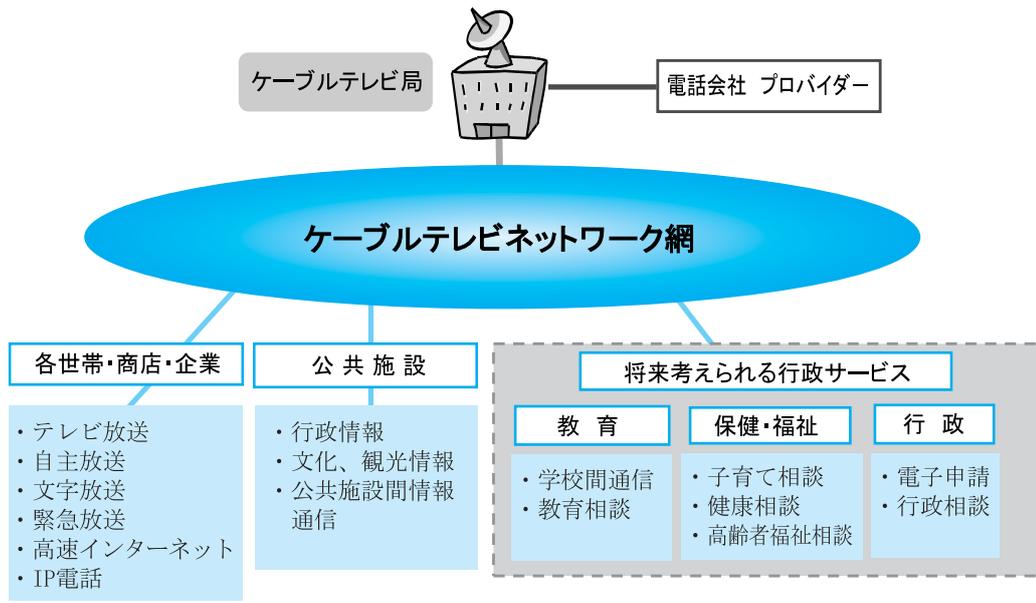
情報化は、幹線に光ケーブルを使った伝送路により、CTB放送センターを介して各家庭のテレビや「告知放送受信端末」を使って相互にやりとりされます。テレビは、簡単なりモニコン操作で情報の受発信が行えるようになります。

また、平成二十三年七月以降も那珂川町全域でテレビ放送（地上デジタル放送）が見られるようになります。

また、平成二十三年七月以降も那珂川町全域でテレビ放送（地上デジタル放送）が見られるようになります。



●ネットワーク活用でもっと便利に



「HT」を接続することになります。ケーブルテレビ高度化事業」では、アンテナは不要となり、「STB」(セツトトップボックス、旧馬頭町のHT(ホームターミナル))

に代わるもの)を接続することにより地上デジタル放送が見られるようになります。これらのサービスを行うために、CTB放送センターの設備やケーブル、CTB加入

者宅に貸与設置してあるHT等の端末を一新しなければならず、小川地区にも新たなケーブル網を布設し、各家庭などに端末を設置する必要があるのです。

③テレビやビデオ、STBはどこのにばいぶの?

屋外に取り付けた「保安器」から、まずは「告知放送受信端末」と「STB」に分配します。

「告知放送受信端末」には、緊急放送等の音声告知機能、パソコン用モデム(データ伝送用の変復調装置)機能、IP電話用モデム機能が搭載してありますので、この端末にパソコンや電話機を接続します。

「STB」には、多チャンネル対応機能、地上デジタルチューナー機能、インターネット接続機能等が搭載してありますので、この端末にテレビまたはVTR(ビデオデッキ)・DVDレコーダー等を接続します。

なお、アナログテレビ等には、2台目以降にもSTBまたは地上デジタル放送用チューナーが必要となります。

★家の中ではこうなります★

